

# PT調査データの標準仕様

---

国土交通省 都市局  
都市計画課 都市計画調査室  
令和5年2月

## ① 調査実施の効率化

- ・調査の標準仕様を定めておくことで、各都市圏における調査設計の効率化を図る
- ・また、今までにPT調査を実施したことがない都市圏でも、標準仕様に合わせて実施できるようにすることで、調査実施のハードルを下げる
- ・標準的な調査票やWEBシステム等を用意することで、各都市圏で一から作成することなく調査実施できるようにし、作業の効率化を図る

## ② データの品質確保

- ・標準的に取得する調査内容を定めることで、PTデータ活用において必要な分析を共通してできるようにする
- ・調査における質問方法や配布・回収方法、エディティングやエラーチェック等のデータ処理方法に関して、標準仕様を定めることで、PTデータの品質を確保できるようにする

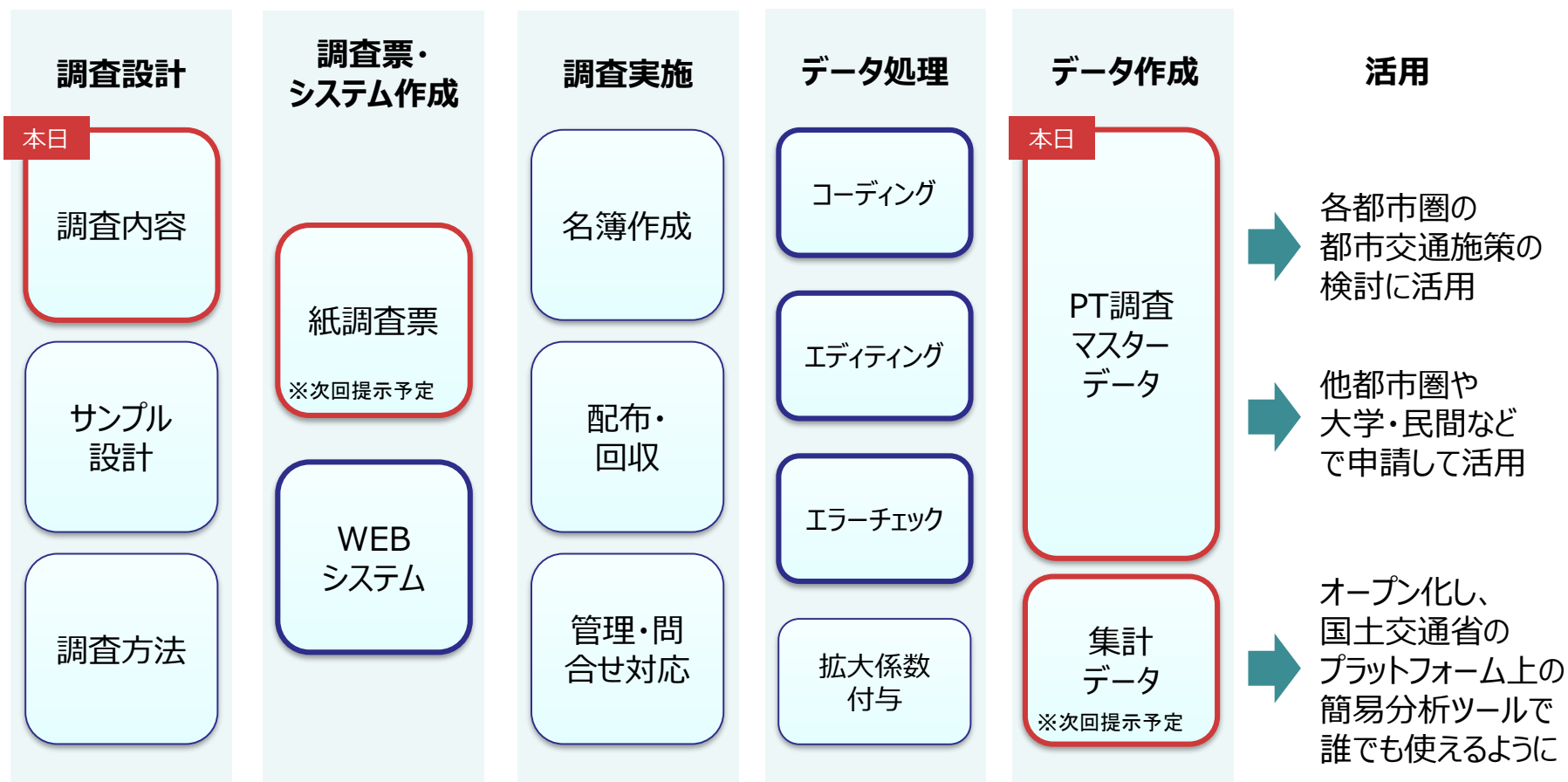
## ③ データの利活用促進

- ・作成後のPTデータ（マスターデータ）のデータレイアウトやコード表の標準仕様を定めておくことで、他都市圏・大学でのデータ活用や、データの横断的な比較を行いやすくする
- ・民間でもデータが扱いやすいようにし、民間ベースでの都市課題の解決を促進する
- ・さらに、集計データのデータレイアウトを定め、国土交通省のプラットフォーム上で可視化・ダウンロードできるようにすることで、誰でもデータが活用しやすい環境を整える

# 今年度の検討対象

- 今年度は**標準的な調査内容（調査項目、選択肢）**を検討
- また、調査内容をデータ化した際の**データレイアウト・コード表の標準仕様**、調査内容を取得するための**紙調査票の標準仕様**を検討

## ■ 調査設計～活用までの流れと今年度の検討対象



# 本日の検討内容

- 本日は、標準的な調査内容（調査項目、選択肢）、データレイアウト・コード表の標準仕様を検討

## 調査内容

### ① 標準的な調査項目の検討

- 必須項目、任意項目の2つの基準で標準的な調査項目を定める

### ② 選択肢の標準分類の検討

- 選択肢の分類を、詳細度に応じて複数段階で整理した標準分類を検討する
- 都市圏毎のニーズに応じて、多様な設定ができるような運用ルールを定める

## レイアウト・コード

### ③ データレイアウト・コード表の検討

- データレイアウト・コード表を作成する考え方及び具体的なデータレイアウト（案）を検討

### ④ 位置情報のデータレイアウトの検討

- 居住地、勤務地、出発地、到着地等の位置情報のデータレイアウトの方針に関して検討

# 標準的な調査項目の考え方

- 調査実施の効率化、データの品質確保に向け、**人の移動・活動の分析において重要な調査項目を「必須項目」とし**、各都市圏の調査において必ず取得するように位置付ける
- 一方で、地域特性や社会情勢等に応じて**フレキシブルな調査設計がしやすいように「任意項目」を設定**する
- 具体的な必須項目と任意項目の設定においては、調査の簡易化ニーズ、過去との都市圏PT調査との整合にも留意することとする

## 必須

- 人の移動・活動の分析において重要な調査項目
- 必須項目の内容であれば簡便に調査**が実施できるように、必須項目に対応した標準調査票・システム等を、今後、国で作成
- プラットフォーム上に作成する**簡易分析ツールも必須項目まで対応**を想定

## 任意

- 都市圏の政策課題や地域特性等に応じて追加する項目
- また、設定した任意項目以外であっても都市圏独自で追加可能とする

# 標準的な調査項目の設定方針

- **トリップの把握に必要な項目、基礎的な属性情報を必須項目とする**
- 移動特性や活動特性を分析するために重要な属性情報、トリップや交通手段の利用実態を捉えるために重要な調査項目も必須項目とするが、具体的な内容に関しては今後精査

## 必須 調査項目

- 都市構造や交通ネットワークの基礎的な検討に活用できるよう、基本となる人の動き（目的別や交通手段別のトリップ）と基礎的な属性（性年齢等）を必須として設定

### トリップ（場所・時刻・目的・手段）の把握に必要な調査項目

例：場所、時刻、目的、手段

### 基礎的な属性情報

例：現住所、性別、年齢

- 移動・活動に関して誰がどんな課題を抱えているかを把握し、施策立案に活用できるよう、世帯や就業、モビリティに関する属性を必須として設定
- 施設立地や公共交通等の個別施策の検討に重要となる、施設種類や乗車駅・降車駅等を必須として設定

### 移動特性や活動特性を分析するために、重要な属性情報

例：世帯情報：世帯人数、続柄、世帯年収  
 就業・就学関係：就業状態、職業、産業、勤務先・通学先  
 モビリティ関連：運転免許、自動車保有、外出の困難さ等

### トリップや交通手段の利用実態を捉えるために、重要な調査項目

例：施設種類、乗車駅・降車駅、自動車の運転有無

全ての項目を  
必須とするか  
引き続き検討

## 任意 調査項目

- 必須項目以外で、調査ニーズがある項目を任意として設定

### 複数の都市圏での調査実績がある項目

例：免許の返納意向、カーシェアリングの登録有無、同行者数…

# 標準的な調査項目案 1/2

## 【世帯票】

必須

必須（今後精査）

任意

設問	必須/任意	分類	回答内容(例)
現住所	必須	属性項目(基礎情報)	( )市町字・丁目・番地(番)・号まで
世帯人数	必須	属性項目(世帯情報)	世帯の人数 ( )人 うち5才未満 ( )人
続柄	必須	属性項目(世帯情報)	世帯主との続柄を選択
性別	必須	属性項目(基礎情報)	男、女を選択
年齢	必須	属性項目(基礎情報)	年齢を記入
就業状態	必須	属性項目(基礎情報)	1. 自営業主・家族従事者, 2. 正規の職員・従業員, 3. 派遣社員, 4. 契約社員, 5. パート・アルバイト, 6. 会社などの役員, 7. 園児・生徒・学生など, 8. 専業主婦・主夫, 9. 無職
職業	必須	属性項目(就業・就学関連)	1. 管理的職業従事者, 2. 専門的・技術的職業従事者, 3. 事務従事者, 4. 販売従事者, 5. サービス職業従事者, 6. 保安職業従事者, 7. 農林漁業従事者, 8. 生産工程従事者, 9. 輸送・機械運転従事者, 10. 建設・採掘従事者, 11. 運搬・清掃・包装等従事者, 12. その他職業, (職業をお持ちでない方), 13. 中学生以下(生徒・児童・園児など), 14. 高校以上の学生, 15. 主婦・主夫(職業従事者を除く), 16. 無職, 17. その他,
産業	必須	属性項目(就業・就学関連)	1: 農業、林業, 2: 漁業, 3: 鉱業, 4: 建設業, 5: 製造業, 6: 電界・ガス・熱供給・水道業, 7: 情報通信業, 8: 運輸業、郵便業, 9: 卸売業, 10: 小売業, 11: 金融業、保険業, 12: 不動産、物品賃貸業, 13: 学術研究、専門・技術サービス業, 14: 宿泊業、飲食サービス業, 15: 生活関連サービス業、娯楽業, 16: 教育、学習支援業, 17: 医療、福祉, 18: 複合サービス業, 19: その他サービス業, 20: 公務, 21: その他, 99: 不明
勤務先・通学先の所在地	必須	属性項目(就業・就学関連)	( )市町字・丁目・番地(番)・号まで
運転免許	必須	属性項目(モビリティ関連)	1. 自動車, 2. 自動二輪車, 3. 原動機付自転車のみ, 4. 持っていない, 5. 自動車免許を持っていたが返納した
運転免許の返納意向	任意	—	1. 今のところ返納を考えていない, 2. 返納予定 ( )年後
自由に使える自動車の有無	必須	属性項目(モビリティ関連)	1. ほぼ自分専用の自動車がある, 2. 家族共有の自動車がある, 3. ない,
外出に関する困難の有無	必須	属性項目(モビリティ関連)	1. 外出困難なし, 2. 多少困難はあるが1人で外出できる, 3. 一部で介助者が必要, 4. 常に介助者が必要, 5. 基本的に外出できない
世帯年収	必須	属性項目(世帯情報)	1. 200万円未満, 2. 200～399万円, 3. 400～599万円, 4. 600～999万円, 5. 1000～1499万円, 6. 1500万円以上
自動車の台数	必須	属性項目(モビリティ関連)	軽乗用車( )台, 乗用車( )台, 軽貨物車( )台, 貨物自動車( )台
二輪車の台数	任意	—	自動二輪車(50ccを超える)( )台, 原動機付自転車(50cc以下)( )台, 自転車( )台
カーシェアリング	任意	—	世帯の中にカーシェアリングの会員になっている方はいますか, 1. はい, 2. いいえ

# 標準的な調査項目案 2/2

## 【個人票】

必須

必須（今後精査）

任意

設問	必須/任意	分類	回答内容(例)
場所	必須	トリップの把握	1. 自宅, 2. 自宅以外 → 所在地を記入(町字・丁目まで)
施設の種類の	必須	トリップや交通手段の実態把握	1.住宅・寮, 2.学校・保育施設・文化施設, 3.医療施設, 4.高齢福祉施設, 5.公園・自然・スポーツ施設等, 6.その他の生活系施設, 7.大規模小売店, 8.小規模小売店, 9.宿泊施設・ホテル, 10.飲食施設, 11.アミューズメント施設, 12.その他の商業系施設, 13.事務所・会社・銀行, 14.官公庁施設, 15.その他の業務系・工業系施設,
目的・活動の種類	必須	トリップの把握	1.勤務先へ(帰社を含む), 2.通学先へ(帰校を含む), 3.自宅へ, 4.買物へ, 5.食事・社交・娯楽へ(日常生活圏内), 6.散歩・ジョギング・運動へ, 7.観光・行楽・レジャーへ(日常生活圏を超える), 8.通院, 9.その他の私用へ(塾・習い事など), 10.送迎(他者の送り迎え), 11.つきそい(他者の用事のつきそい), 1.販売・配達・仕入れ・購入先へ, 13.打合せ・会議・集金・往診へ, 14.作業・修理へ, 15.農林漁業作業へ 16.その他の業務へ,
目的地での消費額	任意	—	( )円 ※交通費・業務上の支払いは除く
出発時刻・到着時刻	必須	トリップの把握	1. 午前 2. 午後 ( )時( )分
利用した交通手段	必須	トリップの把握	1. 徒歩, 2. 自転車, 3. レンタサイクル・シェアサイクル, 4. 原動機付二輪車(50cc以下), 5. 自動二輪車(50ccを超える), 6. タクシー・ハイヤー, 7. レンタカー, 8. カーシェアリング, 9. 乗用車, 10. 軽乗用車, 11. 貨物自動車(ライトバンを含む), 12. 軽貨物車, 13. 自家用バス・貸切バス(送迎を含む), 14. 路線バス(高速バスを含む), 15. モノレール・新交通, 16. 路面電車, 17. 鉄道・地下鉄, 18. 船舶, 19. 航空機, 20. その他
交通手段毎の所要時間	任意	—	手段毎に分単位
移動距離	任意	—	( )km
乗り換え地点	必須	トリップや交通手段の実態把握	鉄道の乗車駅、降車駅、バスの乗車バス停、降車バス停
同行者数	任意	—	自動車利用者(うち、運転した方のみ)のみ同乗者数を回答 トリップの同行者数を回答
運転の有無	必須	トリップや交通手段の実態把握	誰が運転しましたか 1. はい 2. いいえ
高速道路の利用有無	任意	—	1. あり, 2. なし
駐車場・駐輪場	任意	—	駐輪場所 1. 道路上・歩道上の駐輪場所, 2. 月極の駐輪場(道路外), 3. 時間貸しの駐輪場(道路外), 4. 目的地の施設の駐輪場(自宅を含む), 5. 駐輪場は使わなかった, , 駐車場所 1. パーキングメーター、パーキングチケット, 2. 月極の駐車場(道路外), 3. 時間貸しの駐車場(道路外), 4. 目的地の施設の駐車場(自宅を含む), 5. 駅前広場内の駐車場, 6. 駐車場は使わなかった
利用券種	任意	—	バス・電車の乗車券で敬老バス・福祉乗車証(無料・割引含む)を利用しましたか 1. 利用, 2. 非利用
在宅勤務の状況	任意	—	その日に在宅勤務をしましたか, 1. はい, 2. いいえ, 在宅勤務に要した時間をお答えください, ( )時間 ( )分



# 参考：これまでの都市圏PTの調査項目

直近5年の調査実績	これまでの調査実績	該当する調査項目
3/4以上	3/4以上	現住所、性別、年齢、就業形態、勤務先・通学先の所在地、運転免許、自動車の台数、二輪車の台数、場所、施設の種類の種類、目的・活動の種類、出発時刻・到着時刻、利用した交通手段、乗り換え地点、運転の有無、駐車場・駐輪場
	3/4未満	続柄、外出に関する困難の有無
3/4未満	3/4以上	職業、交通手段毎の所要時間
	3/4未満	世帯人数、産業、運転免許の返納意向、自由に使える自動車の有無、世帯年収、カーシェアリング、居住年数、消費額、移動距離、同行者数、自動車の同乗者、高速道路の利用有無、利用券種、在宅勤務の状況

※これまでの調査実績が1/4に満たないものは上記表に含めていない

## 対象の都市圏：平成20年以降に、国の一般統計調査もしくは届出調査として調査を実施した都市圏

東京PT (H30), 近畿PT (R3), 中京PT (R4), 仙台PT(H29), 北部九州PT(H29), 西遠PT(R4), 宇都宮PT(R4), 西遠PT(R4), 新潟PT(R4), 岡山PT (R4), 福島PT (H22), 静岡中部PT (H24), 高松PT (H24), 熊本PT (H24), 大分PT (H25), 群馬PT (H27), 東駿河湾PT(H27), 岳南PT(H27), 長野PT (H28), 山形PT(H29), 小山・栃木PT(H30), 苫小牧PT (H21), 釧路PT (H22), 北見網走PT (H25), 室蘭PT(H28)

※灰色の網掛けは、調査票詳細が不明なため上記集計には含めていない

# 選択肢の標準分類の考え方

- 簡易分析ツール等で横並びで同じ分析をできるようにするため、各調査項目の**選択肢の標準分類を整理する**
- 標準分類が守られる範囲で、**詳細な分類の選択肢を組み合わせられる運用**とする

## 選択肢の標準分類の整理

- 各調査項目の選択肢の分類を複数段階で整理
- 選択肢の分かれる基準を定義するとともに、各選択肢に含まれる具体的な内容を詳細に整理（次ページ参照）

### ■ 選択肢の標準分類表（目的での整理イメージ）

大分類	中分類	小分類
通勤	通勤	通勤
私事	日常的な買物	日常的な買物
	日常的でない買物	日常的でない買物
	食事・社交	食事
		社交
その他私事		通院
		送迎
		その他
...	...	...

## 標準分類の運用

- 原則として用いる分類の詳細度を設定
- 都市圏の状況に応じて、より詳細な分類の選択肢を組み合わせて調査設計できるようにする

どの都市圏も **原則として中分類** を用いると定めた場合、...

**運用例①**  
中分類をそのまま使用

**運用例②**  
中分類をベースに、「食事・社交」は小分類を採用し選択肢を設計（右表）

中分類	運用例②の調査設計
通勤	通勤
日常的な買物	日常的な買物
日常的でない買物	日常的でない買物
<b>食事・社交</b>	<b>食事</b>
	<b>社交</b>
その他私事	その他私事
...	...

# 選択肢の標準分類の整理: 目的の例

- 例えば目的では、以下のような大分類、中分類、小分類の3つの段階的にわけた標準分類表が考えられる
- 原則として中分類を用いて、ニーズに応じて小分類の選択肢を組み合わせることが考えられる

※分類の整理はイメージであり詳細は今後検討

大分類		中分類		小分類		具体的な内容	
コード	内容	コード	内容	コード	内容		
100	通勤	100	通勤	100	通勤	勤務先への出勤(先生の登校も含む)、または帰社	
200	通学	200	通学	200	通学	就学先への登校(幼稚園、小学~大学、各種学校)および登校してから校外活動をして再び学校に戻る場合、ただし、料理・茶道・語学などのおけいこ、塾などは含まない	
300	帰宅	300	帰宅	300	帰宅	勤務先、通学先、買物その他の外出先から自宅へ帰ってくる場合	
400	業務	410	販売・配達・仕入れ・購入先	410	販売・配達・仕入れ・購入先	製造工場から商店・卸売業者への製品輸送、新聞・牛乳などの配達、郵便配達、商店・デパートの配達、出前、製造業者の原料仕入れ、製造工場から卸売業者などへの製品輸送、卸売・商社・小売の製品仕入れ、中央市場・魚市場・青果市場からの仕入れ、得意先への納品など	
			420	打合せ・会議・集金・往診	420	打合せ・会議・集金・往診	業務上の打合せ、会議、公園、研修、書類持参・受領、業務上の預金、電気・ガス・水道の検討および集金、視察、調査、生命保険・化粧品自動車などのセールス、医師往診など
			430	その他の業務	431	作業・修理	自動車・機械などの出張修理、ビル・道路などの建設・補修・掃除、家屋の普請作業など
					432	農林漁業作業	田、畑、山林、牧場、家畜飼育所、温室、養殖場、漁場などでの作業
					433	その他の業務	上記以外の業務目的(業務の送迎を含む)
500	私事	510	日常的な買物	510	日常的な買物	生活必需品、食料品、日用品など	
			520	日常的でない買物	520	日常的でない買物	衣類、家具、電気製品、贈り物などの買い物など
			530	食事・社交	531	食事	レストラン、料理店、ドライブイン、スナックなどの施設で食事する場合
		532			社交	私的なつきあいやパーティ、婦人会、PTAの会合、宗教活動、冠婚葬祭、病気見舞いなど	
		540	娯楽・文化活動	540	娯楽・文化活動	ボーリング、パチンコ、麻雀、スポーツ観戦、音楽、美術映画の鑑賞など	
		550	通院・デイサービス	551	通院	診察、治療検査リハビリなど(付き添い、見舞いは含まない)	
				552	デイサービス	デイサービス、通所介護など	
		560	送迎・つきそい	561	送迎	送迎(業務の送迎は含まない)	
				562	つきそい	つきそい(他者の用事のつきそい)	
		570	散歩・ジョギング・運動	571	散歩・ジョギング	散歩、ジョギング、ランニングなど	
				572	運動・スポーツジム通い	スポーツクラブ・ジムなどの体づくり、体育館での運動など	
		580	観光・行楽・レジャー	580	観光・行楽・レジャー	ハイキング、ゴルフ、野球、運動会、温泉、山、名所・旧跡などへの観光および保護	
		590	その他の私事	591	塾・習い事・学習	学習塾での勉強、料理・茶道・華道などのおけいこ、自己研鑽を目的とした研修・セミナー参加・講習など(業務目的での研修参加を除く)	
592	地域活動・ボランティア			自治会・町内会の活動地域での緑化活動、ごみ拾いや草刈りなどの環境整備活動、社会教育施設や高齢者施設への訪問、在宅高齢者への給食サービス、入院中の子供への学習指導や本の読み聞かせなど			
593	その他の私事			上記以外の私事目的(散髪、美容、入浴、家庭の預貯金や書類の受領、郵便投函など)			

# データレイアウト・コード表の方針

- データレイアウトには必須・任意の調査項目を全て含め、データの型や不明コード等の統一も行う
- 各調査項目のコード表については、桁数を複数設けることで、分類の段階に応じた分析を行いやすくする

## データレイアウト

- 設定した必須・任意の調査項目を全て含めたデータレイアウトとする
- 各都市圏の独自調査項目は、レイアウトの後ろに独自に追加できるようにする
- CSV形式を標準とする
- 各項目についてデータの型、値のとり範囲、不明コードなども指定し統一する

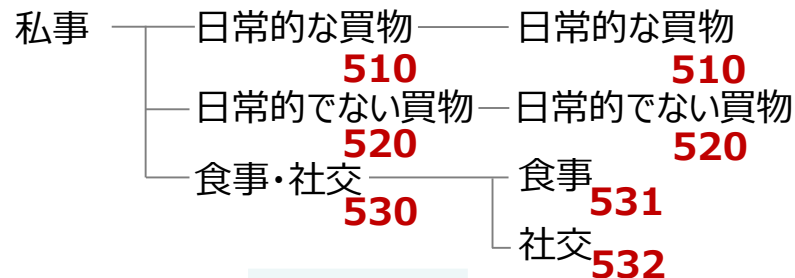
## コード表

- 選択肢の標準分類表に対応したコード表
- 分類が複数段階ある調査項目に関しては、段階に応じてコードを複数桁にすることで、大分類や中分類での集計が統一に行いやすいようにする

大分類  
1桁目

中分類  
2桁目

小分類  
3桁目



「私事」であれば1桁目は「5」で統一、  
「食事・社交」であれば1-2桁目は「53」で統一にすることで、  
特定の桁を参照すれば、統一のコードで分析可能なようにする

ID	データ項目		必須・任意	桁数	型	不明コード	内容
	項目	(分類)					
1	回収分類		必須	1	int	x	1:郵送回収、2:WEB回答
2	世帯番号		必須	10	int	x	
3	世帯人数	5歳未満含む	必須	2	int	99	
4	世帯人数	5歳未満除く	必須	2	int	99	
5	回収個人票数		必須	2	int	x	
6	調査対象日	月	必須	2	int	x	
7	調査対象日	日	必須	2	int	99	1~31日
8	市区町村コード		必須	5	int	x	全国地方公共団体コード
9	町字コード		必須	7	int	x	
10	種・番地		必須	5	int	99999	
11	号		必須	4	int	9999	
12	経度		必須	14	double	BK	
13	経度		必須	14	double	BK	
14	経度経度レベル		必須	2	int	9	5:地番、6:街区、7:棟番
15	メッシュコード		必須	10	int	BK	
16	メッシュレベル		必須	1	int	9	3:三次メッシュ、4:四次メッシュ、5:五次メッシュ
17	ゾーンコード		任意		int		
18	ゾーンレベル		任意		int		
19	自動車台数		必須	2	int	99	
20	自転車台数		任意	2	int	99	
21	原付・バイク台数		任意	2	int	99	
22	世帯年収		必須	1	int	9	
23	個人番号		必須	2	int	x	
24	性別		必須	1	int	9	(コード表参照)
25	年齢		必須	3	int	999	歳
26	世帯主との続柄		必須	2	int	99	(コード表参照)
27	就業(形態・状況)		必須	2	int	99	(コード表参照)
28	職業		必須	1	int	9	(コード表参照)
29	産業		必須	1	int	9	(コード表参照)
30	自動車運転免許保有の状況		必須	1	int	9	(コード表参照)

# 位置情報のデータ化の方針

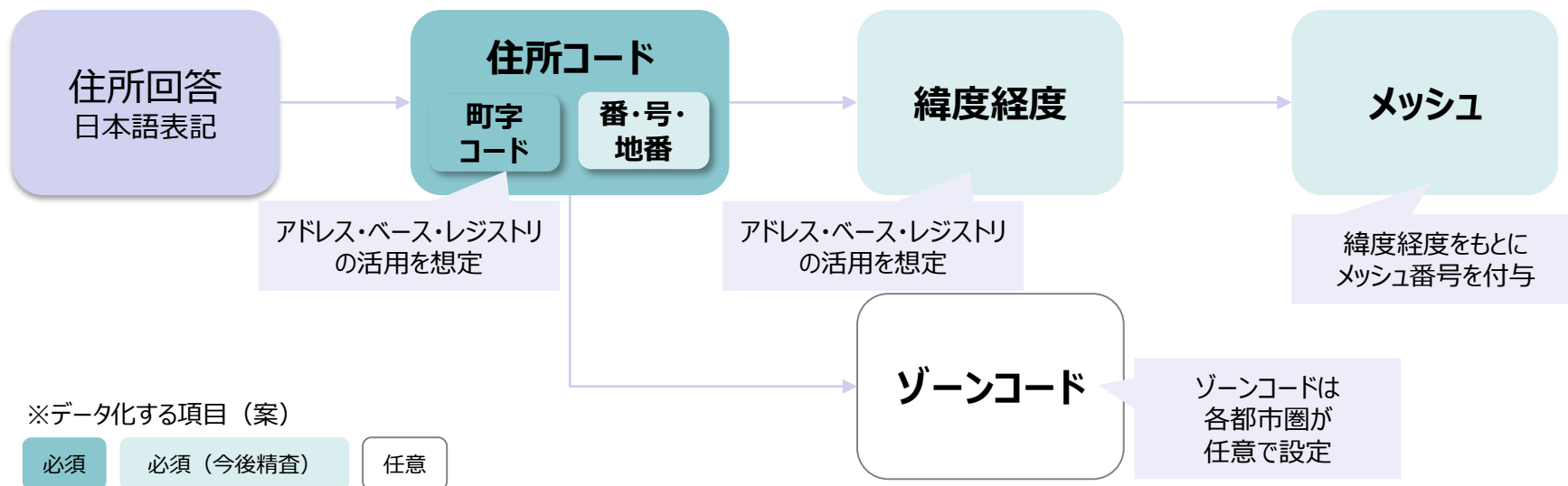
- 公共交通沿線分析や活動圏域分析への活用のため、**詳細な緯度経度レベルでのデータ整備を行うことを推奨**
- これまでは各都市圏が独自にゾーンコードを設定していたが、**アドレス・ベース・レジストリ※等を活用し全国共通で扱いやすいコードを付与**することで、横断的な分析、民間でのデータ活用等を行いやすくする
- 「住所コード」、「緯度経度」、「メッシュ」等の複数解像度のデータを付与**し多様な分析ニーズに応えやすくする
- ただし、**緯度経度等は個人情報に該当**し、調査負担も増加するため、データ化を必須とするかどうかは今後検討

※ 住居表示を実施しているアドレスに関しては一部地域のデータが試験公開（正式公開は未定）  
住居表示を実施していないアドレスに関しては、公表するかどうかも含めて検討中

## 【これまでの位置情報のデータ化】



## 【今後の位置情報のデータ化の方針】

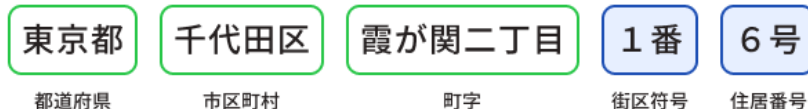


# 参考: アドレス・ベース・レジストリの検討状況

- デジタル庁では、アドレス・ベース・レジストリとして、住所・所在地のマスターデータの整備・推進をしている
- 住所・所在地のマスターデータとして、「住所の日本語表記」、「住所の統一コード（町字コードなど）」、「住所の代表点」を統一的に整理することが検討されている
- 一部地域のマスターデータに関しては試験公開が進められている状況である

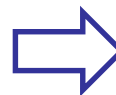
## ■ アドレスの種類と現在の検討状況

### 住居表示を実施しているアドレス



- ### 検討状況
- 一部地域のマスターデータが試験公開
  - 住居番号の緯度経度（位置参照拡張データセット）も試験公開
  - 正式公開については未定

### 住居表示を実施していないアドレス



- 町字までのマスターデータは試験公開
- 町字の緯度経度（位置参照拡張データセット）も試験公開
- 町字の正式公開については未定
- 地番に関しては、公開するかどうかも含め検討中

異動の起点（根拠法令）

地方自治法

住居表示に関する法律

不動産登記法

# 位置情報のデータレイアウト案

- 市町村、住所、緯度経度、メッシュ、ゾーンをレイアウトとして設ける
- 番・地番、号、緯度経度、メッシュに関しては、分析上のニーズは高いが、個人情報に該当し、調査負担も増加するため、必須／任意の区分に関しては今後検討

## 【位置情報に関するデータレイアウト案】

項目		入力例	必須／任意	備考
市町村コード		6201	必須	全国地方公共団体コード
住所コード	町字コード	0001001	必須	アドレス・ベース・レジストリの町字コードを入力 ※上記が整備されるまでは、各都市圏の独自コードを入力
	番・地番	6	必須*	番（街区符号）もしくは地番を入力
	号	1	必須*	号（住居番号）を入力
緯度経度 (ジオコーディング)	緯度	38.25555	必須*	アドレス・ベース・レジストリの位置参照拡張データセットを活用 ※上記が整備されるまでは、民間の緯度経度変換サービス等の利用が必要
	経度	140.44966	必須*	
	緯度経度レベル	7	必須*	数値により、号、番・地番、町丁目・大字、市区町村のどのレベルの代表点データかを示す
メッシュ	メッシュコード	533946113	必須*	緯度経度から変換して作成 ※号、番・地番まで判明していない場合の変換方法は要検討
	メッシュレベル	5	必須*	何次メッシュのコードであるかを示す ※最小を何次メッシュとするかは要検討
ゾーンコード	ゾーンコード	27001	任意	各都市圏で独自に設定
	ゾーンレベル	3	任意	数値で大ゾーン、中ゾーン、小ゾーンのどのレベルまで判別できているかを示す

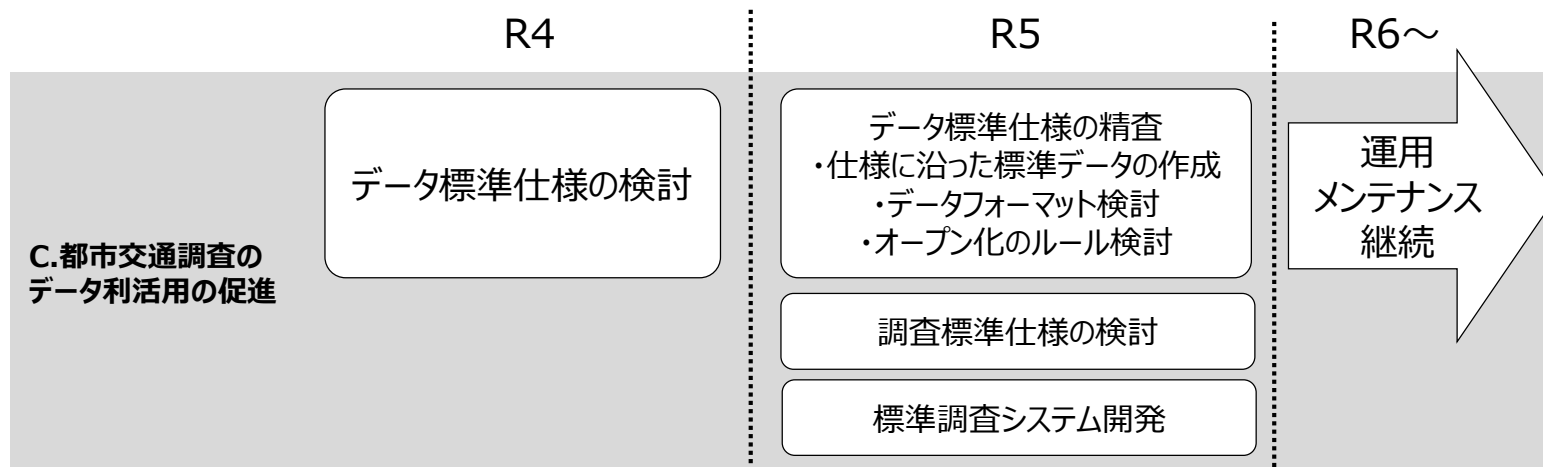
※必須とするかどうか引き続き検討



# 今後の検討事項とご意見いただきたい事項

## 今後の検討事項

- ・本日のご意見もふまえ、調査内容・データレイアウトの標準仕様を精査し、紙調査票案を作成
- ・次年度以降、データ標準仕様の精査、及び、調査の標準仕様・システム化を検討



## ご意見いただきたい事項

### ○標準的な調査項目・選択肢

- 必須／任意の設定の考え方及び具体的な調査項目 (p4,5)
- 選択肢の標準分類の考え方 (p9)、目的を例にした具体的な分類設定 (p10)

### ○データレイアウト・コード表

- データレイアウト・コード表の考え方 (p11)
- 位置情報のデータレイアウトの方針及びレイアウト案 (p12,14)